

## 2018年度資金運用方針

2017年度の運用結果を踏まえ、基本的にはその方針を継承しながら①分散投資、②リスク・リターンの管理・運営体制の充実を目指して、慎重かつ着実に進めてまいりたいと考えております。今後も、ご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 資金運用の目的

運用益（利息・配当金収入および有価証券売却益）は、本学の給付奨学金など様々な基金事業による事業費に充当する。

### 2. 基本方針

- (1) 有価証券運用は一定の流動性資金を確保した後の範囲内で効率的に行い、1%程度の運用利回り为目标とする。
- (2) 投資資産のリターン・リスク特性を十分に考慮して、全体的な運用収益の変動性を適切にコントロールする。
- (3) PDCAサイクルを活用した運用管理を実践し、資金運用の実効性向上を図る。
- (4) ESG（環境・社会・統治）を投資プロセスに組み込み、「投資リターンの向上」と「社会的リターンの向上」の両輪を目指す。

### 3. リスク管理

学内外の有識者による資金運用委員会、資金運用小委員会が運用状況のモニタリングやリスク管理ルールの見直しなどを行うことにより、適切なリスク管理を実践する。

### 4. 運用計画

#### (1) 資産配分

	現預金	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式	その他 (仕組債)	合計
資産配分	55%	30%	8%	3%		4%	100%

#### (2) 運用方法

- ①債券運用では、本学の中長期事業計画に応じ運用期間の組み合わせを勘案する。
- ②債券運用では、今後想定される金利上昇による価格下落リスクを軽減するため、短・中期ゾーンでの債券購入を基本とする。